

はったんまるごと便り

HATTAN
MARU-GOTO
DAYORI

vol. 31

2026
SUMMER

take
free

八反丸トビックス

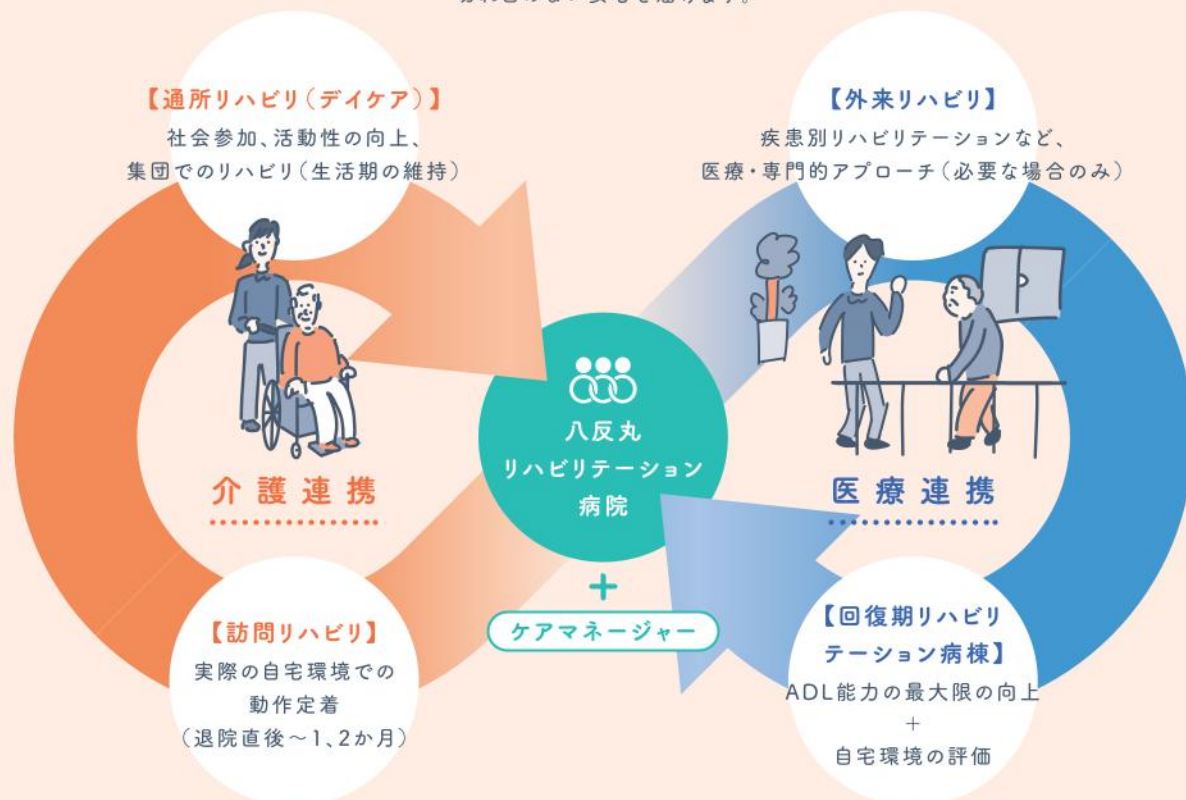
【特集】「家に帰りたい！」を叶える
リハビリテーション



病院と在宅医療のシームレスな連携

Seamless collaboration between hospitals and home healthcare

患者様とご家族の不安を和らげ、リハビリの質を落とさないために、
外部のケアマネジャーとの連携も組み込み、地域包括ケアシステムの一員として
切れ目のない安心を届けます。



病院から自宅生活へのソフトランディング

Smooth transition from hospital to home

入院という医療の管理下にある安全な状態から、
徐々に自宅の環境や地域のサポートへ移行していくことが大切です。
私たちはそのゆるやかな移行＝「ソフトランディング」を推進しています。

ソフトランディングのための3ステップ



◀ 次ページより詳しく説明していきます。

「家に帰りたい!」を叶える リハビリテーション

患者様の「家に帰りたい」という願いを叶えるためには、
それぞれの身体の状態に合わせたリハビリ、生活動作訓練、自宅環境の調整などが必要です。
また、2026年4月、高次脳機能障害者支援法が施行されました。
当院は、鹿児島県指定の高次脳機能障害者支援協力病院です。
入院から在宅、社会復帰へと切れ目なくシームレスな支援が受けられるような体制づくりに取り組み、
「家に帰りたい」という患者様の願いを全力でサポートしています。



私たちの目指す 「シームレスなリハビリテーション」とは?

What's a seamless rehabilitation?

当院の在宅復帰率は令和8年4月実績で92.2%となっています。
*在宅復帰は単に「退院する」ことではなく、患者様のこれからの暮らしへとリハビリのボタンをつなぐプロセスです。
多くの場合、在宅復帰にはデイサービスやヘルパーなどの介護サービスの利用が不可欠です。
病院での集中的なリハビリから各種介護サービスへシームレスに繋ぎ、
退院したその日から患者様本人は元より、ご家族も安心して過ごせる環境を整える。
私たちが目指すのは、そんな安心のシームレスリハビリテーションです。



トイレ

歩行器や車椅子からの移動や、安全な姿勢保持の訓練を行います。



調理訓練

安全かつ自立した生活が行えるよう、患者様ごとの身体機能や認知機能、退院後の生活環境に合わせて、実践的な訓練を実施します。



主に私たち作業療法士チームが、退院時に日常動作が可能な限り一人で行えるようになることを目標にADL訓練を担当します。また、必要に応じてケアマネージャーなどの退院支援担当者とともに情報を共有し、患者様が安心して退院後の生活に入っていけるようサポートしています。



リビング

畳からの立ち上がりは、麻痺や痛みの無い足を立てて体重を乗せ、手でテーブルや床を押しながら立ち上がるようにします。

浴室

浴室での訓練は更衣や移動、身体を洗うなど複数の動作が伴うため難易度が高いものとなります。患者様の状態に合わせて、安全に行えるよう段階的に練習します。



掃除

歩行や移動を伴うことと、視線が下になりがちなのでバランスを崩しやすい動作です。

Step One to

Soft landing!

1

段階的なシミュレーションと訓練の実施

自宅でのADLを維持するために、事前検証を行います。

ADL (Activities of Daily Living) とは、

食事・更衣・入浴・トイレなどの日常生活動作のことをいいます。

一般的な住まいをリアルに再現した環境で実践的な訓練が行えるよう、

このたび「ADL棟」を新設しました。

ADL棟でのリハビリは`自宅への予行演習、

“Dry run for living at home”

ADL棟は、あえてバリアフリーではありません。

一般的なお住まいと同じような段差やバリアのある生活空間を再現しています。

玄関前の階段や上り框の段差、室内の扉など、

実際の生活環境に存在する障害を想定した訓練を行います。

日常に潜む危険箇所の確認や、

手すりなどの住環境整備が必要かどうかの検討なども行っていただけます。



玄関

昇降動作の安定と転倒防止のための練習を行います。麻痺や痛みの無い足から先に段差へ上げ、手すりですっかり身体を支えながら行うことを確認します。



Step Three to



Soft landing!

3

切れ目のない移行プランの策定とその実践

自宅での生活を安定させる上で、介護支援のサービスを退院直後から組み込むことが大切です。当院は、自宅での生活に不安がある方や外出が難しい方などを対象とした「訪問リハビリテーション」と、通所で専門的なリハビリを受け規則正しい生活リズムを保つための「通所リハビリテーション」を行っています。当院外で入院治療を受けていた方も、退院後のリハビリは当院にお任せください。

●リハケア部 介護事業 瀬戸上 敬志



私は理学療法士として15年、介護事業に異動となって5年になります。介護が必要となっても住み慣れた自宅で過ごしたいという祖母の姿を間近で見たことが、この仕事を志したきっかけです。

訪問リハにおける理学療法士は、患者様の状態はもちろん、それぞれの自宅環境に合わせた個別プログラムを提供するため、高い専門性と柔軟な対応力が求められます。特に一人暮らしの利用者様はより多角的な注意が必要です。誰も見ていない時間が長いので、客観的に異変がないか観察する必要があります。例えば、「転倒した」という申告があった場合、痛みを我慢していないか、歩き方に異常はないかなどを注意深くチェックし、必要な場合は外来に繋げます。迅速な医療連携と外来スタッフへの確実な情報伝達が当院の訪問リハのメリットです。

また、当院は通所リハも行なっています。退院後も、入院時と変わらない環境で質の高いリハビリテーションを受けることができます。病院の通所リハなので、必ず医師が常駐しています。内服薬の管理や体調管理も病院の基準で行われるため確実で安心です。

入院中から退院後の生活へとシームレスに繋ぎ、在宅フォローをケアマネジャーとともに策定しますので、安心してご自宅での生活をスタートしていただけます。一人ひとりの患者さんの『これから』に寄り添い、病院と地域が一体となった切れ目のないサポートを提供してまいります。

	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション
対 象	主に介護認定取得の方 (医療保険も可能)	車の乗降が可能な方
訪 問 範 囲	当院から車で20分圏内が目安 (主に中央・吉野・伊敷地区)	当院から車で10分圏内が目安
利用日・時間	月曜～金曜(週6単位まで)	13:00～14:30

【連絡先】080-8954-8987(担当/永留) ※柔軟に対応しますので、まずはお気軽にご相談ください。

Step Two to



Soft landing!

2

自分らしい生活リズムを取り戻すために

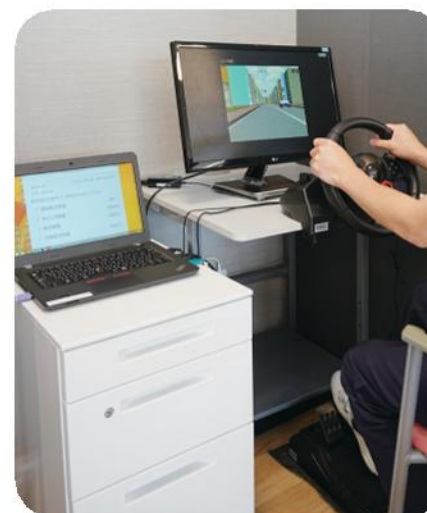
患者様本人が、自分らしく生活し社会とのつながりを再構築するためには、物理的なアプローチだけでなくソフト面のサポートも重要です。できた!を見つけることで自信と自立を取り戻し、退院後の生活を支える支援を行っています。

家庭菜園スペース

身体が思うように動かなくなると、人は気力が弱ってしまいます。得意なこと、できること、好きなこと、楽しいこと、面白いことに取り組むことで、心も元気になって欲しい。そんな想いを込めて、小さな菜園スペースを設けました。患者様たちと和やかに苗を植え、少しずつ育っていく様子を眺めるのも毎日の楽しみとなっています。収穫した作物は、調理訓練に活用していきたいと思っています。



ドライブシミュレーター



車社会の世の中において、「車」は買い物や病院通いなど不可欠な生活必需品です。しかし、一方で身体の機能や認知の衰えによって運転操作を誤った痛ましい交通事故のニュースが、毎日のように世間を騒がせているのも事実です。患者様の社会復帰支援の一環として、安心安全に自動車運転を再開できるよう、また場合によっては運転免許の自主返納を検討するよう、ドライブシミュレーターを用いて客観的評価を行っています。

運転支援を
希望する患者様

主治医の
診断書作成

免許センター
での運転適正相談
を経て決定



新人研修



本年度は、常勤医師を含む24名が新しく入職しました。

新入職員の看護師、理学療法士、作業療法士を対象に新人基礎研修を行いました。

理事長および院長の講話や、
基礎的な接遇マナー、当院の理念やビジョンの共有、
医療安全や感染対策、コンプライアンスなど、
5日間にわたってチーム医療の重要性について学びました。

社会人になったばかりの新入職員も多いですが、
仕事を通してどんな役割を果たしていきたいのか、どんな医療人を目指すか、
など自分自身の目標を設定することで、主体性を持った深い学びができると思います。

当院では、職員一人ひとりの成長がチームの絆を深め、
病院全体の質の向上につながると考えています。
新入職員が安心してステップアップできるよう、組織全体で支える教育体制を整えています。

初日は緊張した面持ちだったメンバーも、
研修が進むにつれて和やかな雰囲気のなか、真剣に各カリキュラムに取り組んでいました。

新しい仲間とともに八反丸チーム一丸となって、
地域の皆様の期待に応えられるよう、より一層の技術向上に取り組んでまいります。



病院機能評価認定を受けました。

病院機能評価とは、医療機関の運営管理や提供される医療の質を
第三者機関が中立的な立場で評価する制度です。

この評価により認定を受けた病院は、
「地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、
日常的に努力している病院」であることが認められます。

当院は、2026年4月3日付で2016年の初回認定から数えて
3回目となる「病院機能評価（リハビリテーション病院）」の認定を受けました。

認定有効期間は5年となっており、
当院が引き続き一定水準以上の医療機能を備えていることが認められたものです。

今回の再認定を励みに、これからも地域に根ざした信頼される病院を目指して
職員一同、医療の質と安全性のさらなる向上に取り組んでまいります。





PPE（個人防護具）着脱訓練

いざという時に慌てないための感染症対策



PPE（個人防護具）の着脱は、対応にあたるスタッフ自身はもちろん、周囲への二次感染を防ぐために最も重要なプロセスです。今回は新人職員を対象に、いまきいれ総合病院様より「感染管理認定看護師」の先生をお招きして、着脱訓練を行いました。先生の講話やお手本をもとに、実際に手順を確認しながら一人ひとりが確実にマスターできるよう新人職員全員真剣に取り組みました。改めて医療従事者としての責任を感じ、気が引き締まる有意義な時間となったようです。

鹿児島駅周辺クリーン作戦2026

毎年恒例の地域イベントに参加しました。

鹿児島駅周辺クリーン作戦は、「上町タウンマネジメント」様主催のイベントです。6月10日が、上町地域のシンボル鹿児島駅の開設記念日と、路面電車の日であることにちなみ、毎年清掃活動イベントを行っています。当院も上町地区の一員として、ボランティア参加しました。当日はたくさんの地域の方と一緒に、多くのゴミを回収しました。普段の通勤や生活で慣れ親しむ上町地区がきれいになり、清々しい1日となりました。これからも上町の一員として、環境美化に貢献していきたいと思います。



OPEN HOSPITAL ～未来の同僚に会いにいこう～

病院見学会のご案内です。八反丸リハビリテーション病院は、2024年5月に新築移転し、働きやすく良好な人間関係、充実した教育制度が魅力です。見学会にて実際に働くスタッフや病院内の雰囲気をご確認ください。少しでもご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

●看護師／介護福祉士／社会福祉士／看護補助者（未経験者歓迎）／看護師等養成校の学生
※新卒の方に限らず、在職中やブランクのある経験者の方も大歓迎です。

●次回開催決定日／7月18日（土）10:00～12:00

上記日程以外も随時対応させていただきます。

◎お問い合わせはこちら ▶ TEL 099-222-3115 担当／田中（看護部長）、西田（採用担当）



はったんまるトピックス

HATTANMARU TOPICS

外国人技能実習生が入職しました。

ミャンマーから2名の技能実習生が、
介護の知識・技術を学びにやってきました！

技能実習制度とは、開発途上国の外国人に実務を通じて日本の技術や知識を学んでもらい、母国の経済発展を担う人材を育成することを目的とした制度です。本院も国際協力の一貫として、この度ミャンマーから2名の技能実習生を受

け入れることとなりました。実習開始から2か月が経ち、少しずつ日々の業務や日本での生活に慣れてきたかな？といった様子です。入院病棟で、患者様の介護を通して技術習得に日々頑張りますので、どうぞ皆様よろしくお願いします。



ソーさん



ルインさん



リクルートガイダンス

看護専門学校にて
就職説明会を開催しました。

当院の看護部長、採用担当、法人担当の3名で、鹿児島市中山町の医療法人協会立看護専門学校に伺いました。看護部長より病院概要や、看護師としてキャリアアップを実現するための段階的な教育体制について説明させていただきました。学生の皆さんは、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。質問もたくさん寄せられ、私たちにとっても直接お話できる有意義な時間となりました。多くの学生さんに就職いただけますよう願っています。



かんまち激坂タイムアタック

南洲公園の名物階段を一気に駆け上がれ！

さる5月23日（土曜日）、南洲神社の入口から鳥居まで伸びる155段の階段を一気に駆け上がってスピードを競う「かんまち激坂アタック」が開催されました。当院も救護班として運営をお手伝いさせていただきました。小学生～60代まで約65名の方々が健脚&体力を競われました。当院の理学療法士に加え、宮路拓馬衆議院議員も飛び入り参加！ゴール地点では、汗を拭いながら美しい桜島の遠景を見つめる皆さんの、達成感に満ちた横顔が印象的でした。



Mission, Basic Policy and Vision

【理 念】

みんなの「嬉しい」「良かった」を追い求めます。

【基本方針】

- ◎ 患者さんの「嬉しい」「良かった」を増やします。
- ◎ 職 員 の「嬉しい」「良かった」を増やします。
- ◎ 地 域 の「嬉しい」「良かった」を増やします。

【ありたい姿】

みんなを惹きつける病院を目指します。



八反丸イメージキャラクター
「はちまる」

Check and Follow Us!

公式ホームページ



<https://hattanmaru.jp/>

Facebook



[@hattanmaru.hospital](https://www.facebook.com/hattanmaru.hospital)

Instagram



[@hattanmaruofficial](https://www.instagram.com/hattanmaruofficial)



〒892-0852 鹿児島市下竜尾町3番28号 TEL:099-222-3111(代) FAX:099-226-8945

URL <https://hattanmaru.jp> E-mail jhh@hattanmaru.jp